いいこと**いっぱい**ありそう

夏のボランティア・市民活動体験

夏のボラ市（イチ）

学生も必見

読み応えあり

夏はイベント もりだくさん

ボランティアの情報満載

すごい冊子 あります

のたろ 夏号

すかっこの 市民活動情報

ガイドブック
夏のボランティア・市民活動
36 団体分の 46 イベント掲載

学生ボランティアも大歓迎です

例えば こんな イベントのお手伝い

夏は市民活動イベントもいっぱいあります。
自分にはなにができるんだろう？
初めてのボランティアを試してみたり、まあ、なにかやってみるのにはちょうどいい季節です。

流しそうめん夏まつり
横須賀市立養護学校で開催
ハンディキャップのある仲間といっしょに

夏の星座
火星・天の川・はくちょう座「北下浦みんなの家」の天体観測

持ち物はエプロンとバンダナ
京急長沢駅から徒歩 1 分にある古民家風の地域コミュニティ広場

地域食堂
みんなで作ってみんなで食べよう
衣笠コミュニティセンターで待ってます

インクルーシブ学童
障害のある子もない子もいっしょに楽しい夏休みをすごしましょう
久里浜の商店街にあります

発達障害をもつ大人の会
発達障害をもつ人と周りで支援する人との交流会です　毎月 1 回大津コミュニティセンターなどでおこなっています

認知症カフェ
講演を聞いたり 音楽を聴いたり お茶を飲みながらおしゃべり　長沢で月に 1 回開催

野外映画会
夏の夜 三笠公園の広場で海の風を感じながら子どもたちと映画を

「アマモ」って知ってる？
箱メガネを使って 走水伊勢町海岸で 海の生物観察会

募金活動
横須賀中央駅前で 病気の子どもやその家族のためへの支援をよびかけます

例えば こんな イベント体験

百聞は一見にしかず。気軽にイベントに参加してみましょう。
ボランティアってなに？…が、わかるかもしれません。

被爆体験を語り継ぐ会
広島・長崎の原爆被爆者の方から体験を直接おうかがいします

絵図にみる明治の横須賀
明治時代に作成された絵図を資料に幕末から 150 年の横須賀を振り返ります

ゴスペル合唱体験見学
ウェルシティ―市民ホール（逸見）でアメリカ人によるゴスペル指導

情報冊子「夏のボランティア・市民活動体験 2018」がほしい方は、市民活動サポートセンターへお問い合わせください。

ひと ～市民活動を支える人たち～

よこすか海の市民会議　**川口 将人**さん

人なつっこい笑顔と気さくな会話。よこすか海の市民会議代表の川口さんにお話を伺った。

昭和３８年８月、東京都大田区生まれる。三歳の頃、海の好きだった父と母に連れられ、自然環境に恵まれた横須賀に移り住んだ。

小中学校は鴨居、遊びに行くのは海、放課後は釣りをして、夏は泳いだ。おやつは捕った魚を食べる。小学校中学年で、水中メガネ、シュノーケルも使っていた。高校の頃から、サーフィンなど海のスポーツに没頭した。

その一方、工作や絵を描くのも好きだった、高校で進路決定のとき美術系の大学に行きたいと志望した。大学では、染め物のデザインを専攻。空間を演出する造形作家になりたかった。コケを使った造形作品をつくったり、流木を使ったアートに取り組む。公募展にも熱心に出展、留年もしたが、メディアに取り上げられたこともあった。卒業制作は、船を造った。竹で船の形を作り、そこに自分で染めた布を張っていった。４ｍくらいまでの大小１０艘ほどをディスプレイした。

卒業の頃には、使えるものをデザインするのも面白いと思うようになっていた。高校くらいからテーブル、椅子、本棚、自分でつくって使っていた。「自分で使うものをつくるのは楽しいな」いつも思いつづけていた。

そして、紳士服メーカーのダーバンに就職、イクシーズ、インターメッツォといったブランドを担当した。そして、４０歳のときに独立。デザイン事務所を経営、今に至る。

海との付き合いは、社会人になってからも続いていた。東京に住んでいた時期もあり、週末しか海にゆかれず、波を待つサーフィンから、スキューバやシーカヤックを楽しむようになっていった。

平成２１年、猿島公園専門ガイド養成講座の募集記事を見つけた。ずっと地域との関わり合いをしていなかったと感じていたこともあり応募。自然コースを受講した。講師には、市会議員の一柳洋さんや博物館館長の林公義さん、歴史研究家の山本詔一さんがいた。

シーカヤックや、スキューバーをしていたことがきっかけとなり、一柳さんからよこすか海の市民会議に誘われ入会した。会は、専門家ばかりで、はじめ川口さんには何を言っているかも理解できない状況だった。シンポジウムや集まりに参加しているうちに次第に理解を深めてゆき、2015 年皆に推されて代表になった。「今でも、私が一番詳しくないんですよ」と苦笑いする。市民によるわかめの種刺しと収穫祭、アマモ場の再生事業の再開など、市民を招き入れる活動を積極的に行ってきた。

「地元にある素晴らしいものを知らない人たちが多い気がする。おいしい海の幸だけでなく、魅力的な場所だったり、他にない独特の文化だったり。それをみんなに知ってもらうことは、ぼくら市民団体のやるべきことなのかも知れない」と話してくれた。。

川口さんは、冬は山スキーも楽しむ。そこでは、猟師さんたちとの交流があった。イノシシや鹿の肉をもらう代わりに、たくさんの生わかめ持って行ったこともある。「猟師さんもプライドを持って仕事をしている。猟師さんと漁師さんをつないで、うちにはこんなものがあるんだと、お互いをたたえ合えるようなコラボレーションを実現したい。」

獲って作って食べる。作って使う川口さん、住まいも家族で建てたという。「やらなければいけないという責任感ではなく、楽しいからする」と言う。充実した暮らしの中にある市民活動を感じたインタビューでした。

（はこざき）

団体紹介　よこすか海の市民会議

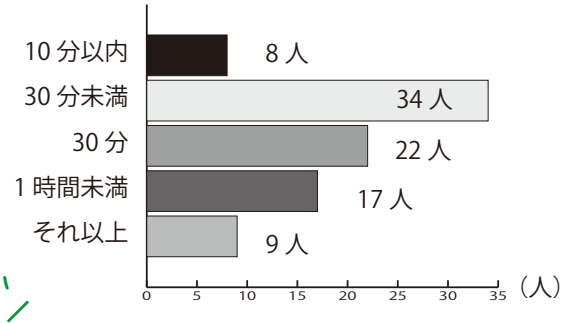
みんなが親しめる横須賀の海を取り戻すために、子どもたちに横須賀の海を知ってもらったり、移植したアマモのモニタリングなど、海の調査もしています。サポセンでも月に一回の夜、会議をおこなっている「よこすか海の市民会議」は、夏のイベントボランティアも募集しています。

走水のアマモ場で『海の生き物観察』
7 月 28 日（土曜日）、箱メガネを使って走水の海に住む生き物観察会をおこないます。
持ち物は、タオル、お弁当、飲み物、そして、帰りの履物★

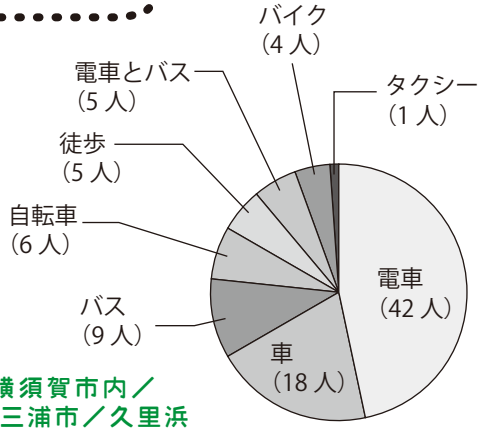
のたろん TagCloud アンケート

サポセンを利用している人に聞きました。

おしえてください。サポセンにくるのに何分かかった？



なにで来ました？



アンケートの◎答が全部見られます♪

公郷／汐入／坂本／追浜／粟田／田浦／小川町／根岸町／馬堀海岸／佐原／追浜／桜が丘／上町／三春町／湘南鷹取／横須賀市内／安浦／野比／舟倉／ハイランド／船越町／汐入／浦賀／浦賀／三浦市／久里浜／安浦／逗子市／芦名／平成町／鶴が丘／湘南鷹取／三春町／逸見／東京都大田区／久里浜／久里浜／荻野／ハイランド／野比／佐原／公郷／浦賀丘／浦郷町／馬堀／長沢／平作／吉井／鷹取／三浦市／坂本町／安浦町／森崎／馬堀町／舟倉／鶴が丘／久里浜／根岸町／浦郷町／西浦賀／不入斗町／岩戸／上町／横須賀のいなかっぽい所（山の方）／グリーンハイツ／上町／新横浜／野比／厚木市及川町／グリーンハイツ／平作／秋谷／岩戸／横浜市金沢区／浦上台／三春町／桜ケ丘／浦賀

山の話　3人組

山岳部で3人（3つ上のN先輩、2つ上のS先輩と私）2人とも山岳部では後から入って来た。昭和45年のGWに3人とK先輩と八ヶ岳に行った。これが最初かな？5月末丹沢に沢登り、3人と2人。9月穂高に他に3人で6人。雨に降られた。10月他2人と巻機山へ、これも雨で登山口の橋の下で寝た。11月越後三山ここから3人が始まる。五日町駅を出るときは、雨が降っていた。登山口まで行くと晴れてきた。登り始めると、段々雪が積もってた。晴れて枝から雪が落ちてくる、八海山に登るころには、快晴になって来た。これを越えて五竜岳の山頂でツエルトビバーク。ポールの替わりに鋸を持ち木を切って、ポールの替わりにした。翌日中ノ岳に登り、駒ケ岳迄縦走した。駒の小屋に泊まる。この時に駒から只見方面を見たら、ヤケに尖った山が見えた。笠倉山だった。12月御嶽山冬山合宿3人と他2人。

46年5月越後山脈縦走。冬テントを持って行ったが、雨でビチャビチャになり、撤退した。この時に雪目（目のやけど）。8月南アルプスフライ縦走、北岳から山伏峠まで。10月守門岳3人自分は先に帰る。

48年11月巻機山3人と後2人と登って、下の民宿で騒いだ。48年は3人では行ってない。2人の先輩と登ってましたが、自分がストーブとコッフェルを持ってたので、食事当番はずっと自分でした。その後も他のメンバーを入れてあちらこちらの山に登ってます。57年になり、S先輩が山に登らなくなり、平成18年になって、八幡平で復活してきました。

私たち3人の事を、ゴールデントライアングルと呼んでました。

（松崎健一）

********** サポセンtopics トピックス

サポセンは　通り抜けＯＫ！

～イスも机もトイレもどうぞ～

京急汐入駅方面からどぶ板通り入口まで、サポセンの館内を通り抜けてショートカットできるフリースペースがあります。通行人も多く、ここに活動紹介コーナーを増設。椅子とテーブルも増やし、ウェルカム黒板、生花も置きました。オープンカフェっぽいです。なかなか居心地もよく、チラシやポスターなどの情報もいっぱい。あ、そうそう、紙コップのコーヒー美味しくなったと評判いいですよ、是非。

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

◆サポセン発信情報
◆E メール info@yokosuka-supportcenter.jp
◆サポートセンターのホームページ
「のたろん Web」は“のたろん”で検索♪

のたろんジャーナル

のたろん　検索

情報誌「のたろん」夏号（通巻 75 号）　2018 年 7 月 1 日
発行 横須賀市立市民活動サポートセンター
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート
横須賀市本町 3-27（京浜急行汐入駅徒歩 1 分）
TEL ０４６－８２８－３１３０
FAX ０４６－８２８－３１３２
市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。
編集ボランティア／はこざき・みずたに・まつざき　スタッフ／ぬまさき・のぎむら